

第4回理事会議事録

日時：平成29年11月25日（土）14：00～16：00

場所：多伎コミュニティセンタ1階和室

出席者：小林央、森脇、陶山、石川、錦織、岩本、川上、篠崎、堀江、岩根、秋吉、藤井、
傍島、吉岡 山崎（認知症推進委員） 以上15名

委任状：和崎、石倉、白鹿、宇都宮、楠田、小林成、祝部、元廣 以上8名

1. 会長挨拶

2. 報告事項

(1) 平成29年度認知症作業療法推進会議

事務局住所、電話番号、認知症チームアドレス、担当黒田、山崎→確認承認、事務局 陶山の横に
（呼び出し小林）を追記すること

【検討課題】 地域、家族会との連携について県士会として、どのようなプロセスを踏んだらいいのか。
前提、推進委員になってもらうこと→公文書発行し、県士会活動として参加とする
来年度以降の活動計画について推進委員より提案してもらう

*各地で関わっている会員の把握（ロードマップ作成；人員確保、運営会議開催）

*各ブロックに推進委員をおけると良い。 松江、隠岐、益田ブロックには協力要因確保
可能か。

*協会からのアンケート調査も実施検討されている

※無理のない範囲で継続可能な活動を

(2) 会長中国ブロック調整会議 中国ブロック学会については今後の検討課題とする

(3) 事業部 ①フェスタA（久野先生）

②フェスタB（作品展示、県民普及）好評だった。

来場者約500名。次年度も同時期同場所開催予定。

③喀痰吸引研修 協会マニュアルの改訂が予定されておりそれに伴う内容検討必要。

参加者も減少傾向にあり、次年度以降休止の方向とする→承認
情報発信は検討

④福祉用具支援システム

(4) 事務局 ①システム講習会

②中国ブロックリーダー研修会

(5) 渉外部 ①4団体交流会 次年度はMSW士会担当

(6) 福利部 ①サッカー大会 14名参加

救急セット(コールドスプレーや絆創膏等)の準備をする。→承認

(7) 保険部 ①精神科懇話会

(8) 学会 参加者150名

県士会報告についても分かりやすく良かった

3. 協議事項

(1) 学術部

学術誌作成に関して、案として、冊子作成、電子媒体がある

冊子作成→印刷代かかる、論文集約出来ないと発刊難しい

電子媒体→HP 上に PDF ファイルアップすれば経費抑制にはつながる。会員には ID 付与ログインに

より閲覧印刷可能としてはどうか。←トライアルで電子媒体し、必要度を検討しては。

紀要として発刊→査読委員必要ない、倫理審査もハードル低い

関係各所への配布の検討

ISSN 取得を努力する

【まとめ】 実現可能な範囲で検討すること。

質の担保、経費抑えての作成を検討。

タイムスケジュールの変更検討。当初次年度募集予定だったが再来年度を目途に検討。

→**継続審議**

(2) 教育部 生涯教育基礎研修会の開催時期について

平成 30 年度 2 日連続開催研修実施し、全プログラム修了を図る→**承認**

福利部との企画も合同開催を検討とする

(3) 地域包括ケア推進委員会・地域支援事業 今後の活動方針について→**承認**

事業のロードマップを作成すること。

定期的な情報集約、情報共有、発信をすること

各事業の会員の関与状況把握をすること。

(4) 事務局

①ブロック長会議 平成 30 年 1 月 20 日（土）開催→**承認**

②平成 30 年度総会について 平成 30 年 6 月 3 日（日）開催

総会時研修会、会長講演、保険部研修会も同時開催企画予定→**承認**

③調査アンケート実施について

事務局内に担当部署（保険部で調整中）を設け、会員意見を活動に反映するためのアンケート

実施（年一回程度）→**承認**